



SHINWA
FUKUSHIKAI
親和福祉会

令和元年度事業報告書



ほっとサポートしんえい
HOT SUPPORT—SHINEI—



けやき福祉園
KEYAKI FUKUSHIEN



ぶどう工房
budou koubou



コトイロ日和
KOTOIRO BIYORI



アンパス
unPass



ララスマイル
La La SMILE



クラシック
quLASHIC

本部	1
ほっとサポートしんえい	8
けやき福祉園	12
コトイロ日和	16
ぶどう工房	19
ララスマイル	23
クラシック	26
相談センターアンパス	28

法人本部

(1) 実施事業

計画	コトイロ日和 就労継続支援B型事業の開始<重点項目①>
報告	計画どおり、本町4丁目に取得した土地・建物においてコトイロ日和を就労継続支援B型事業として開始した。

(2) 理事会・評議員会・監査

計画	① 理事会 5月・12月・3月 ※定例開催 ② 評議員会 6月・3月 ※定例開催 ③ 監事監査 5月
報告	① 理事会開催状況 第1回 平成31年4月18日 出席理事 6名 議題 職員の不祥事に関する総括について 第2回 令和元年6月12日 出席理事 6名 議題 平成30年度事業報告の認定について 平成30年度各事業所会計決算の認定について 定款・定款細則の改正について 役員等報酬支給規程の制定について 役員等及び職員出張旅費規程の改正について 苦情解決に関する規定の制定について 本部会計・ほっとサポートしんえい・けやき福祉園の資金収支補正について 定時評議員会の開催について 定時評議員会に提案する理事及び監事について 評議員選任解任委員会の開催及び評議員の補充選任の提案について 第3回 令和元年6月27日 出席理事 6名 議題 理事長の選任について 役員等報酬支給規程の制定について 平成30年度苦情および事故報告について クチーナ・デル・オテントについて 第4回 令和元年9月17日 出席理事 6名 議題 コトイロ日和運営規程の一部改正について 職員就業規則・再雇用職員雇用規則・専門職員就業規則・短時間職員就業規則・職員給与規則の一部改正について 各事業所の資金収支補正について 評議員会開催について 中間事業経過報告について 第5回 令和元年12月10日 出席理事 6名 議題 育児介護休業規程・職員就業規則・再雇用職員雇用規則・

専門職員就業規則・短時間職員就業規則の一部改正について
 各事業所の資金収支補正について
 評議員会開催について
 令和2年4月採用正規職員募集について
 倫理綱領検討委員会、虐待防止検討委員会中間報告について
第6回 令和2年3月17日 書面決裁による議決
理事会議決事項についての同意書提出 6名
 議題 職員就業規則・専門職員就業規則・職員給与規程・育児介護
 休業規程・役員等及び職員慶弔見舞等支給規程・経理規程の
 一部改正について
 各事業所の資金収支補正について
 令和2年度事業計画（案）について
 令和2年度資金収支予算（案）について
 評議員会開催について
 第三者委員の委嘱について
 令和2年4月採用第2次正規職員募集について
 倫理綱領委員会、虐待防止検討委員会報告について
 旧満日小学校跡地賃借による公募型プロポーザル方式応募
 について

② 評議員会開催状況

第1回 令和元年6月27日 出席評議員 6名
 議題 平成30年度事業報告の認定について
 平成30年度各事業所会計決算の認定について
 定款・定款細則の改正について
 役員等報酬支給規程の制定について
 役員等及び職員出張旅費規程の改正について
 本部会計・ほっとサポートしんえい・けやき福祉園の資金収
 支補正について
 理事及び監事の選任について
 評議員の補充選任について
 役員及び職員出張旅費規程の改正について
 苦情解決に関する規定の制定について
第2回 令和元年9月25日 出席評議員 5名
 議題 職員就業規則・再雇用職員雇用規則・専門職員就業規則・
 短時間職員就業規則・職員給与規則の一部改正について
 中間事業経過報告について
 各事業所の資金収支補正について
第3回 令和元年12月18日 出席評議員 5名
 議題 各事業所の資金収支補正について
 育児介護休業規程・職員就業規則・再雇用職員雇用規則・
 専門職員就業規則・短時間職員就業規則の一部改正について
 中間事業報告について
 令和2年4月採用正規職員募集について
第4回 令和2年3月25日 書面決裁による議決
評議員会議決事項についての同意書提出 7名

議題 職員就業規則・専門職員就業規則・職員給与規程・育児介護休業規程・役員等及び職員慶弔見舞等支給規程・経理規程の一部改正について
 第三者委員の委嘱について
 各事業所の資金収支補正について
 令和2年度事業計画（案）について
 令和2年度資金収支予算（案）について

③ 監事監査開催状況

令和元年5月29日 開催 出席者2名

事業報告書・決算報告書・決算付属明細表及び財産目録の監査

(3) 運営事務局会議<重点項目②・③>

計画 適切かつ効果的な法人運営を行うため、毎月運営事務局会議を開催する。
 （構成：事務局/管理者）

- ① 各事業の実施状況の報告・情報共有及び財務状況等の運営事項の協議。
- ② 各委員会の報告・協議。
- ③ 法人短期・長期計画について検討・見直しを図る。
- ④ 利用者本位のサービス提供・人材育成・法令遵守・ガバナンス等の観点から運営事務局会議開催に合わせて年4回、拡大運営事務局会議を開催する。
 （構成：事務局/管理者/サービス管理責任者及び各事業リーダー）

報告

- ① 運営事務局会議 12回開催
経営会議 1回開催（構成：理事/管理者/事務局）
- ② 各委員会で会議を開催し、運営会議、経営会議において進捗状況を確認した。
また、理事会において報告を行った。
- ③ 運営会議等において計画の検討・見直しを図った。また、満日小学校跡地賃借による公募型プロポーザル方式応募を行った。
- ④ 拡大運営事務局会議 2回開催

(4) 財務管理

計画 法人事務局において、社会福祉法人会計基準および経理規程を遵守し、適正かつ効果的な財務管理を行う。

- ① 会計事務処理の本部事務局一元化。
- ② 適正な予算執行等の財務管理。
- ③ 会計事務所による2ヶ月に1度の巡回指導の実施。

報告

- ① 計画どおり本部事務局一元化を行った。
- ② 年度途中で事業運営の変化に伴い補正を行い、予算・財務管理を行った。
- ③ 計画どおり行った。

(5) 委員会<重点項目②>

計画	<ul style="list-style-type: none">・法人理念の具現化と関係法令等の遵守の徹底を図るため、倫理委員会を設置する。・虐待防止委員会 虐待防止に係る取り組みの検討・実施。・研修委員会 法人研修の企画・運営。
報告	<ul style="list-style-type: none">・倫理綱領委員会 各施設より代表職員を選出し委員会の構成を行った。会議を行い、法人として倫理綱領の指針を決定した。第6回理事会において報告を行った。・虐待防止委員会 各施設より代表職員を選出し委員会の構成を行った。会議を行い、年間計画（自己チェック、研修、メンタルヘルス等）を作成した。第6回理事会において報告を行った。・研修委員会 新潟市知的障害施設連絡協議会と合同で研修会の開催、参加を行った。また、秋葉区施設連絡会と合同で研修会の開催、参加を行った。

(6) 地域連携・地域貢献

計画	<ol style="list-style-type: none">① 六条大麦を活用した取り組みへの参加。② 関係諸団体への所属・連携。③ 地域イベントの協働・参加。④ 地域の方を対象とした自主イベントの企画・実施。⑤ ボランティア・職場体験・体験学習・実習生の受け入れを行う。
報告	<ol style="list-style-type: none">① 秋葉区、地元企業と連携し六条大麦を活用したメニューを作成し、フードメッセへ参加した。② 関係諸団体への所属・連携については、それぞれの団体に引き続き参加してきた。③ あきはなびまつり、秋葉っ子ふゆまつりへの協賛金を出資した。④ 各事業所においてイベントの企画・地域行事への参加を行った。⑤ 各事業所において受け入れを行った。

(7) 情報公開

計画	<ol style="list-style-type: none">① 各事業所による広報誌の発行。② 事業運営の透明性を図るため、ホームページに、定款・現況報告・財務諸表・事業所評価等の掲載。
報告	<ol style="list-style-type: none">① 各事業所において計画的に発行した。② 計画どおり掲載した。

(8) 苦情解決

計画	① 法人苦情解決規程にのっとり対応を行い、苦情内容・対応を公表する。 ② 各事業所に苦情受付担当者及び解決責任者を配置する。 ③ 第三者委員2名 皆藤 充：前評議員 湯上 綾子：前評議員
報告	① 各事業所に苦情受付体制を整備し、苦情の受付、解決にあたった。 *受付件数・内容は別表参照 ② 計画どおり配置した。 ③ 第三者委員会の活動を依頼する事案は無かった。

(9) 防災・危機管理

計画	① 防災計画策定・必要な訓練の実施。 ② 事故・ヒヤリハット記録の整備、報告に基づく検討、会議の実施。 ③ 個人情報取扱要項に基づき、個人情報保護の徹底を図る
報告	① 防災計画については、各事業所において計画を立て、防災訓練を実施した。 ② 事故ヒヤリハットについては、各事業所において記録の整備、周知を図り事故防止に努めた。 ③ 個人情報については、同意書の署名を得たうえで情報保護に配慮してきた。

(10) 健康管理

計画	①健康診断・内科検診・歯科検診を実施し、協力医療機関体制を整備する。 協力医療機関：ほしの医院 ②感染症予防マニュアルの策定・必要な措置を講じる。
報告	① 計画どおり健康診断・内科検診・歯科検診を実施した。 ② 感染症の防止については、マニュアル等に基いて対応した。また新型コロナ対策については別途法人としての対応策を講じた。

(11) その他

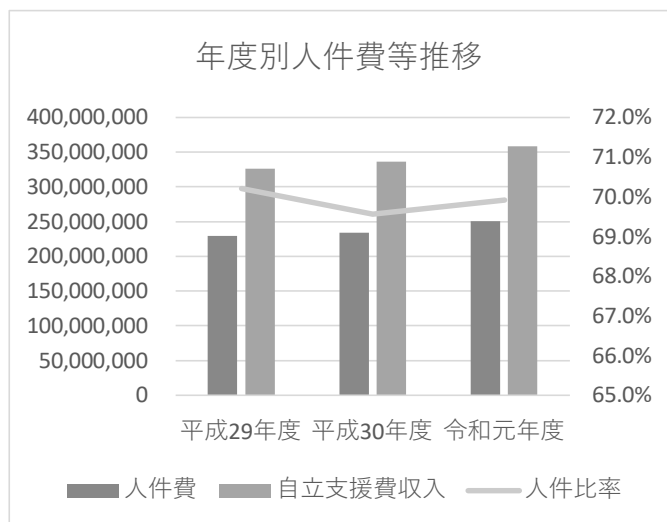
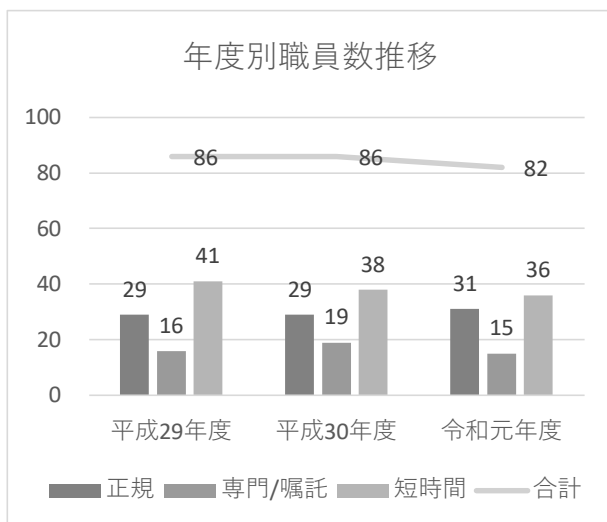
報告	①正規職員採用について 令和2年度4月採用正規職員試験を行った。(計3回) 採用：正規職員5名(新規採用3名・内部登用2名)
-----------	--

年度別職員雇用状況

事業名	平成29年度				平成30年度				令和元年度				
	正規	専門/嘱託	短時間	合計	正規	専門/嘱託	短時間	合計	正規	専門/嘱託	短時間	合計	備考
本部	1名	1名		2名	1名	1名	1名	3名	1名	1名	1名	3名	
しんえい	11名	3名	7名	21名	10名	3名	4名	17名	9名	3名	7名	19名	
けやき	9名	4名	15名	28名	8名	7名	13名	28名	9名	4名	13名	26名	
ぶどう	3名	2名	6名	11名	3名	2名	6名	11名	3名	1名	7名	11名	
コトイロ	1名	3名	8名	12名	2名	3名	8名	13名	4名	4名	2名	10名	
ララスマイル	3名	2名	5名	10名	3名	2名	5名	10名	4名	1名	5名	10名	うち長期休暇のみ1名
アンバス	1名	1名		2名	2名	1名		3名	1名	1名		2名	
クラシク							1名	1名			1名	1名	兼務職員15名
合計	29名	16名	41名	86名	29名	19名	38名	86名	31名	15名	36名	82名	

年度別職員人件費推移

事業名	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	人件費	自立支援費収入	対人件比率	人件費	自立支援費収入	対人件比率	人件費	自立支援費収入	対人件比率
本部	1,567,857			4,697,967			8,407,037		
しんえい	76,674,787	103,217,430	74.3%	61,476,225	101,054,168	60.8%	63,138,625	101,523,109	62.2%
けやき	72,669,466	128,039,051	56.8%	74,927,093	132,020,841	56.8%	72,696,880	130,769,279	55.6%
ぶどう	27,744,348	38,091,878	72.8%	28,001,055	39,557,010	70.8%	28,805,061	42,140,629	68.4%
コトイロ	12,642,606	9,156,820	138.1%	18,050,369	12,671,706	142.4%	32,315,968	23,171,517	139.5%
ララスマイル	25,730,496	39,888,083	64.5%	27,733,887	39,613,697	70.0%	30,284,981	43,273,856	70.0%
アンバス	11,926,143	7,664,659	155.6%	16,243,510	7,668,408	211.8%	11,313,525	10,158,192	111.4%
クラシク				2,614,897	3,429,271	76.3%	3,815,712	7,647,782	49.9%
合計	228,955,703	326,057,921	70.2%	233,745,003	336,015,101	69.6%	250,777,789	358,684,364	69.9%



事業所別研修参加件数

所属	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ほっとサポート しんえい	0	0	1	4	0	1	3	5	1	0	1	0	16
けやき福祉園	0	0	2	1	0	2	2	5	3	1	3	0	19
ぶどう工房	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
コトイロ日和	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
ララスマイル	2	0	3	4	2	0	0	5	2	2	4	0	24
アンバス	0	0	1	0	3	3	6	4	2	2	2	0	23

事業所別苦情・事故件数

所属	苦情件数	備考	事故件数	備考
ほっとサポート しんえい	4	学校関係者 1件 秋葉区の方 2件 保護者 1件	2	左手親指骨折 1件 左足指剥離骨折 1件
けやき福祉園	0		0	
ぶどう工房	0		1	右手指先負傷
コトイロ日和	0		0	
ララスマイル	0		0	
クラシック	0		0	
アンバス	0		0	

※苦情は事業所において受け付けた件数。事故は新潟市へ報告した事案。

事業所別職員資格取得状況

所属	社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	保育士	実務者研修	痰吸引
ほっとサポート しんえい	4	0	4	3	0	0
けやき福祉園	3	2	4	5	0	0
ぶどう工房	1	3	0	1	0	0
コトイロ日和	0	0	1	0	0	0
ララスマイル	0	0	0	4	1	1
アンバス	2	0	1	2	0	0
合計	10	5	10	15	1	1

ほっとサポートしんえい

(1) 作業支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・外作業：施設外作業・就農、大麦栽培、農作業等を法人内の事業所と協力して行い、法人内利用者のニーズに応じていくとともに事業間の連携を図る。<重点項目②>・利用者のニーズに合った作業を提供できるように、資源回収や農作業の拡大図っていくとともに、地域のかかわりの中から社会性を学ぶ。・法人内事業所と連携して、もち麦を活用した六次化産業を提供していく。・パン配達・販売を通して社会参加を図る。
報告	<ul style="list-style-type: none">・自家生産の大麦の収穫量は増えたが、既存の精麦機の調子が悪く、精麦機を1台増やしてコトイロ日和や大口の農業法人からの受注に対応したが思ったほど精麦量の受注が伸びなかった。・施設外就労で特別養護老人ホームの清掃を行い委託料の固定収入が得られ助かった反面、年明けより空缶、古紙等の価格が暴落して収入が激減した。・新栄町へのパン配達は定期的に実施ができた。

(2) 生活支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・個々のニーズを把握し、必要に応じて個別に支援を提供する・個々に楽しめる活動を提供し、生活にメリハリが持てるよう支援する
報告	<ul style="list-style-type: none">・リハビリや歩行訓練等行い、身体機能の維持・向上に努めた。・さまざまな課題作業を提供したり貼り絵をしたりして、日中活動の充実を図った。また、天気がいい時期は屋外に散歩に出たり、植物園に出かけ散策したりするなど屋外での活動を多く取り入れた。・登録者に比べて生活介護の稼働率がB型に比べ低く、長期欠席者もいることが大きな要因であるが前年に比べ平均で2名増えた。

(3) 余暇支援 <重点項目①>

計画	<ul style="list-style-type: none">・季節に応じた施設全体行事や、各事業の目的や希望に沿った行事を実施する・年9回土曜日を開所し、外出・カラオケ・創作活動など様々なメニューを提供し余暇支援の充実を図る。・年1回、植物園までウォーキングを行う。他にも積極的に施設外を歩行し自然を感じることで生活に張りが出たり、体育館を利用して活動することで体力の維持向上を図る。
報告	<ul style="list-style-type: none">・8月には「どんちゃんまつり」を盛大に実施し、地域の方との交流を深めた。また、1月には「新年会・成人式」を実施し、利用者・保護者とともに楽しい1日を過ごした。・B型は6月に社会見学で「佐藤食品」を訪問したり、生活介護は数人の小グループで希望をとって外出活動を行った。秋には部門毎に日帰り旅

行で会津方面や寺泊へ出かけたりして楽しく過ごした。

- ・土曜開所日は調理実習やカラオケ等の娯楽活動を中心に実施したりして生活に張りを持たせることができた。
- ・レクリエーションスポーツ活動は5月に実施、少し暑い日だったが植物園までウォーキングを行い日頃の運動不足解消に役立った。

(4) 相談支援

計画 ・利用者及び家族と面談を行い個別支援計画の作成し実施。半年後に評価を行う
・日頃から利用者の心配事や要望に常に耳を傾け、聞き取りの上個別面談や家庭訪問を行い、必要に応じて関係機関に繋ぐ。

報告 ・個別支援計画を作成し半年ごとに評価・見直しを行った。評価・見直しについては、利用者・保護者と面談を行い説明するとともに、新たなニーズについても確認したり、モニタリングの機会を増やした結果、報酬増にもつながった。
・障害特性の強い利用者には定期的に家庭訪問を行い、身体状況を把握し、他事業所のサービスへつなげるようにした。

(5) 送迎支援

計画 ・自力で通所が困難な方に自宅までの送迎支援を行う

報告 ・生活介護利用者は17名、B型利用者についても10名に対して送迎を行った。また、短期入所など他事業所を利用する際も送迎を実施した。

(6) 支援サービスの質の向上

- ①毎月、事業別ケース会議と職員会議を実施する。
- ②必要に応じて関係機関を交えたケア会議を実施し、共通認識を持って支援を行う。
- ③福祉制度や障害者支援に関わる内容だけでなく、幅広い各種研修に積極的に参加することで知識を深め、地域福祉に貢献できる人材育成に努める。また、定期的に施設内研修を行い職員のスキルアップを図る。
- ④利用者のニーズに合わせて、B型、生活介護合同で活動する機会を設ける。一人ひとり役割を持つことで自身につなげ、より良い生活が送れるようにする。
- ⑤利用者のニーズを把握するとともに、家庭状況や困り感を確認し、新たなサービス実施に向けた取り組みを行う。
- ⑥虐待防止の取り組みとして3ヶ月に一回支援に関するセルフチェックとグループワークを行い、職員個々の振り返りと連携強化を図る。
- ⑦感染症対策を強化する。

報告	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎月事業別にケース検討会議を行い、個別支援計画や評価の検討、確認を行ったり、利用者支援について検討したりした。また、職員会議では、各事業での作業や行事の検討や確認を行った。 ② 利用者・保護者との面談時には相談支援専門員やグループホームスタッフ等にも同席して頂き、支援について情報を共有するようにした。 ③ 主に「強度行動障害」や「自閉症」をテーマにした研修会には集中的に職員を参加させて個々のスキルアップを図った。また、施設内で研修報告会を行い、研修で得た知識を他職員に伝達研修を行った。
-----------	---

(7) 地域社会・関係機関との連携

計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 秋葉区障がい施設連絡協議会、新潟市知的障害施設連絡会に所属し連携する ② 地域交流イベント『どんちゃんまつり』を企画・実施する ③ 町内資源回収やパン配達を通して、新栄町内や地域社会との交流を深める
報告	<ul style="list-style-type: none"> ① 市知連は法人が幹事だったので11月に厚労省から片桐虐待防止専門官を招いて「施設における虐待防止」をテーマに合同研修会を開催、法人からも多くの職員が参加し過去にない参加者数で大盛況だった。 ② 8月に「どんちゃんまつり」を実施した。地域の方からも準備や片付け等協力していただいたり、青陵大学OB・OGの方からダンスを披露していただいたりした。外部からの出店も招き400人以上の集客があり、事故なく盛大に終わることができた。 ③ 毎月2回新栄町内の資源回収を行ったり、毎週木曜日には町内にぶどう工房のパン配達へ行ったりして、地域との交流を深めた。

(8) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品目	数量	契約金額	契約業者
ビジネスホン	一式	2,227,662円	岩通新潟株式会社
ワンボックスバン	1台	2,515,400円	阿部自動車興業株式会社
精麦機	1台	489,144円	(株) 新潟クボタ
エアコン 2.8Kw	1台	108,000円	(有) 藤本電気

事業別利用状況

就労継続B型

定員

36

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	804	748	789	855	704	728	770	748	755	688	649	765	9,003
開所日数	21	20	21	23	19	20	21	21	21	20	19	21	247
平均利用者数	38	37	38	37	37	36	37	36	36	34	34	36	36
利用率	106.3%	103.9%	104.4%	103.3%	102.9%	101.1%	101.9%	98.9%	99.9%	95.6%	94.9%	101.2%	101.2%

事業別利用状況

生活介護

定員

24

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	338	326	350	370	296	330	343	340	346	329	322	360	4,050
開所日数	21	20	21	23	19	20	21	21	21	20	19	21	247
平均利用者数	16	16	17	16	16	17	16	16	16	16	17	17	16
利用率	67.1%	67.9%	69.4%	67.0%	64.9%	68.8%	68.1%	67.5%	68.7%	68.5%	70.6%	71.4%	68.3%

事業所全体利用状況

定員

60

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1,142	1,074	1,139	1,225	1,000	1,058	1,113	1,088	1,101	1,017	971	1,125	13,053
開所日数	21	20	21	23	19	20	21	21	21	20	19	21	247
平均利用者数	54	54	54	53	53	53	53	52	52	51	51	54	53
利用率	90.6%	89.5%	90.4%	88.8%	87.7%	88.2%	88.3%	86.3%	87.4%	84.8%	85.2%	89.3%	88.1%

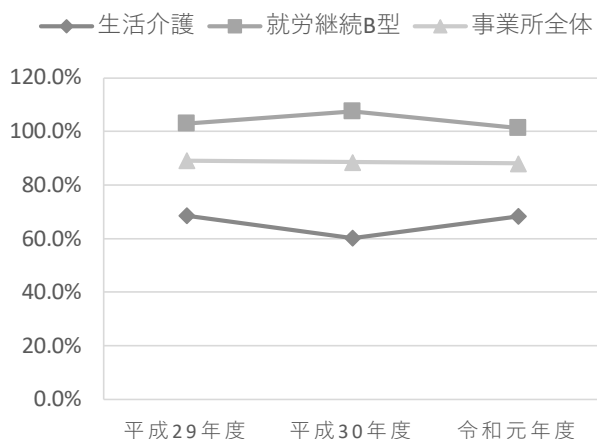
年度別利用状況

事業名	平成29年度				平成30年度				令和元年度				前年比 平均利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	36	252	9,344	103.0%	36	252	9,751	107.5%	36	247	9,003	101.2%	△ 748
生活介護	24	252	4,152	68.7%	24	252	3,638	60.2%	24	247	4,050	68.3%	412
事業所全体	60	252	13,496	89.3%	60	252	13,389	88.6%	60	247	13,053	88.1%	△ 336

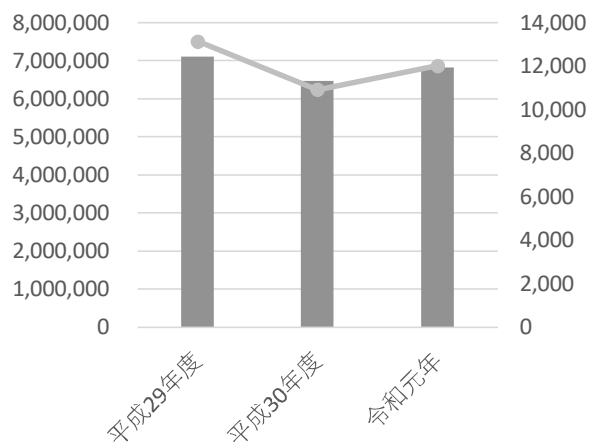
年度別工賃支払状況

事業名	平成29年度				平成30年度				令和元年度				前年比 平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援B型	44	7,104,514	6,638,802	13,146	45	6,477,112	5,592,468	10,923	47	6,830,219	5,820,341	12,025	1,102

年度別利用状況推移



年度別工賃状況推移



けやき福祉園

(1) 作業支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・利用者の選択肢を広げる取組みとして、外作業：施設外作業・就農、大麦栽培、園芸、農作業等を法人内事業所と協力して行ない法人内利用者のニーズに応えていくとともに事業所間の連携を図る。＜重点項目①＞・農福連携により 近隣農家で就労支援を行うことで、地域の方と関わり合いながら生産活動を行い社会性を学ぶ。・法人内の事業所と連携して、もち麦を活用した6次化産業を展開していく。
報告	<ul style="list-style-type: none">・施設外作業（農作業、秋葉山動物飼育、圃場管理、園芸、ペレット製造、廃品回収等）について、ご本人の希望を聞きながら機会を提供してきた。 <u>圃場管理の協働については、計画はしたが実施に至らなかった。</u> → 次年度に実施・農福連携では、前年度に引き続き地域の方と関わりながら活動を行なった。・大麦（もち麦）関連の作業（栽培、イベント販売）については法人内事業所と協力して計画し実施してきた。

(2) 生活支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・その人にとってよりよい生活につながることは何かを考え、チームで検討し一貫した支援を行う。
報告	<ul style="list-style-type: none">・日々の反省会で職員それぞれが気づいたことを出し合い、課題を共有し検討して支援の統一を図ってきた。

(3) 余暇支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・季節に応じた施設行事や、各事業の目的や希望に沿った行事を実施する。・年間9回 休日に開所し、外出・調理・創作活動等、様々なメニューを提供し余暇支援の充実を図る。
報告	<ul style="list-style-type: none">・クリスマス、年始行事、節分等の全体行事のほか、B型事業では社会見学や選択制の余暇活動、生活介護では隔月の調理体験、年2回 講師を招いての音楽活動、選択制の外出活動等を実施した。・年間9回、主に第二土曜日に開所し、買物・見学等の外出やカラオケ・創作活動等室内での余暇支援を希望者に対し実施した。

(4) 相談支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・常に利用者と対話することを心がけ、生活全般に関するニーズや不安、困りごとを聞き受ける。その情報を関係機関と共有することで、サービス等利用計画や個別支援計画に反映させていく。〈重点項目②〉・家族の相談についても随時受け、必要に応じて家庭訪問を行う。
報告	<ul style="list-style-type: none">・<u>利用者の相談についてはていねいに聞きとることを心がけて対応してきた。ニーズや不安に感じていることなどを聞き受け、相談員と共有し利用計画・支援計画に反映させて支援にあたった。</u>・家族の相談についても随時受けしてきた。施設内のことに関しては、事実確認を行ない話し合いや報告を行なった。家庭での問題等については、相談員を通して関連機関につなぎ連携して支援した。

(5) 送迎支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・送迎を希望する秋葉区在住の利用者に対し送迎支援を実施する。 ※五泉市、阿賀野市についても一部実施
報告	<ul style="list-style-type: none">・秋葉区、五泉市在住の希望者に対し送迎支援を実施した。 ※阿賀野市についても一部送迎支援を実施。

(6) 支援サービスの質の向上

計画	<ol style="list-style-type: none">①マンション秋葉を活用し、自己選択、自己決定による自主的な活動の機会を増やす。作業のほか 買物、調理、野菜の栽培、マナー講習等、日常生活に広がりがあるような活動を自分たちで考えて話し合ったり、自分で選べるような工夫をしたりしながらすすめていく。〈重点項目③〉②毎月事業別ケース会議と職員会議を実施することで、課題について検討し情報を共有していく。③必要に応じて関係機関を交えたケア会議を実施し、共通認識を持って支援を行う。④福祉制度や障害者支援に関わる内容だけでなく、幅広い各種研修に積極的に参加することで知識を深め、地域福祉に貢献できる人材育成に努める。⑤虐待防止への取り組みとして、支援に関するセルフチェックとグループワークを実施し、個々の振り返りと連携強化を図る。⑥事故・ヒヤリハット案件について、会議・反省会等で周知し再発防止に努める。⑦感染症対策を強化していく。
----	--

報告	<p>①マンション秋葉を活用し、作業、調理体験、創作活動等の機会を提供した。 <u>少人数で行なうことで、自分の意思で話をする・決める・選ぶことをポイントに支援してきた。</u></p> <p>②毎月事業別ケース会議と職員会議を実施し、情報共有を行なった。</p> <p>③多種サービスを利用している方や家族支援が必要な方等、必要に応じて関係機関とのケア会議を実施した。</p> <p>④支援に関する研修をはじめ、農福連携や地域コーディネート等の研修に参加し、職員会議で報告し周知した。</p> <p>⑤虐待防止への取組みとして、グループワークを年3回実施した。また、ストレスチェックを兼ねたセルフチェックを3ヶ月に1回実施した。</p> <p>⑥その月の事故・ヒヤリハット事項について職員会議でふり返りを行ない、再発防止に努めてきた。</p> <p>⑦前年度に引き続き、感染症対策としてインフルエンザの流行時期に向けて弱アルカリ性次亜塩素酸ナトリウム溶液を準備していたが、施設内・送迎車への朝夕の散布を始める前（12月）に、7名（利用者4、職員3）がインフルエンザに罹患し、保健所に報告した。 ・新型コロナウイルス感染症対策については別紙のとおり。</p>
-----------	---

(7) 地域社会・関係機関との連携

計画	<p>①あきはステップファームを受託、実施する。</p> <p>②もち麦を活用した取り組みを通して地域とのつながりを深める。</p> <p>③地域のイベント等に積極的に参加する</p> <p>④ボランティアや実習生、施設見学を積極的に受け入れる。</p>
報告	<p>①「あきはステップファーム」ほっとサポートしんえいと協力して実施した。 七日町の満日保育園さんと農作業や菓子作りなどで交流を深めた。</p> <p>②もち麦活用（Akiha プロジェクト）プロジェクトをとおして、地域の商店や事業所とのつながりができた。</p> <p>③もち麦PR、焼菓子販売で地域のイベントに参加した。</p> <p>④施設見学、日赤奉仕団の炊き出し等のボランティアを受け入れた。特別支援学校生については、学校と相談し次の支援につながるよう配慮して実習受入れを実施した。</p>

(8) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品 目	数 量	契約金額	契約業者
エアコン	— 式	379,500 円	(株) 八重電業社
洗濯機	1 台	125,400 円	(株) ソーワ
製粉室修繕	— 式	184,492 円	(株) 馬場工務所
施設換気扇修繕	— 式	167,035 円	(株) 馬場工務所
厨房床修繕	— 式	107,437 円	(株) 馬場工務所
シャッター修繕	— 式	105,019 円	(株) 馬場工務所

事業別利用状況

就労継続B型

定員

40

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1,002	921	936	1,062	846	894	949	928	882	873	812	900	11,005
開所日数	21	20	20	23	19	20	21	21	20	20	18	21	244
平均利用者数	48	46	47	46	45	45	45	44	44	44	45	43	45
利用率	119.3%	115.1%	117.0%	115.4%	111.3%	111.8%	113.0%	110.5%	110.3%	109.1%	112.8%	107.1%	112.8%

事業別利用状況

生活介護

定員

13

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	304	290	298	330	279	292	315	305	296	289	264	315	3,577
開所日数	21	20	20	23	19	20	21	21	20	20	18	21	244
平均利用者数	14	15	15	14	15	15	15	15	15	14	15	15	15
利用率	111.4%	111.5%	114.6%	110.4%	113.0%	112.3%	115.4%	111.7%	113.8%	111.2%	112.8%	115.4%	112.8%

事業所全体利用状況

定員

53

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	1,306	1,211	1,234	1,392	1,125	1,186	1,264	1,233	1,178	1,162	1,076	1,215	14,582
開所日数	21	20	20	23	19	20	21	21	20	20	18	21	244
平均利用者数	62	61	62	61	59	59	60	59	59	58	60	58	60
利用率	117.3%	114.2%	116.4%	114.2%	111.7%	111.9%	113.6%	110.8%	111.1%	109.6%	112.8%	109.2%	112.8%

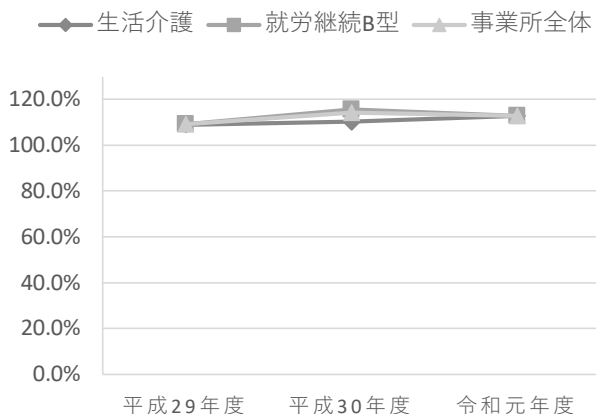
年度別利用状況

事業名	平成29年度				平成30年度				令和元年度				前年比 平均利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	40	259	11,328	109.3%	40	255	11,788	115.6%	40	244	11,005	112.8%	△ 783
生活介護	13	259	3,668	108.9%	13	255	3,650	110.1%	13	244	3,577	112.8%	△ 73
事業所全体	53	259	14,996	109.2%	53	255	15,438	114.2%	53	244	14,582	112.8%	△ 856

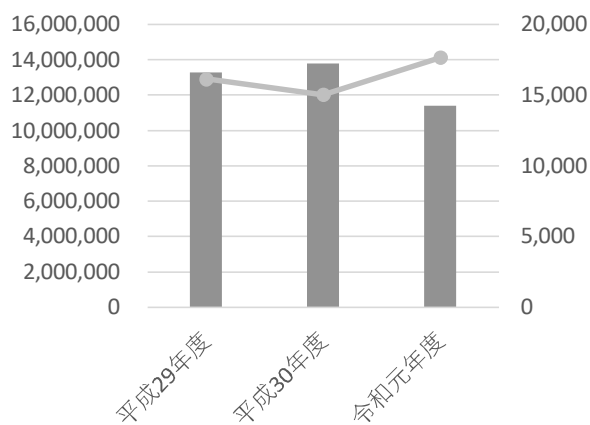
年度別工賃支払状況

事業名	平成29年度				平成30年度				令和元年度				前年比 平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援B型	57	13,275,886	9,748,514	16,140	55	13,795,435	9,481,259	15,050	57	11,400,604	10,617,490	17,666	2,616

年度別利用状況推移



年度別工賃状況推移



コトイロ日和

(1) 作業支援〈重点項目②〉

計画	<ul style="list-style-type: none">・法人内事業所での食事提供業務を行う。・カフェレストラン運営の喫茶事業において、個々の適性や作業スキルに応じて、接客や調理補助を行う。・秋葉区障がい施設連絡協議会内「コレッテ」の運営を受託し、販売活動を行う。・喫茶業務でのノウハウを活かした弁当等の製造、販売を行い、より「食」に特化した事業展開を行う。・法人内の事業所と連携し、六条大麦を活用した6次産業を展開として、大麦を使用した健康的なメニューや商品の提供を行う。
報告	<ul style="list-style-type: none">・計画通り実施した。・<u>受託事業としての食事提供業務において、法人内の提供先事業所が1ヶ所から2か所に増えているため、前年度に比べて収入が増加している。</u>・<u>喫茶事業では、店舗リニューアルで2か月間休店したこともあり前年度比65%の収入であった。</u>・秋葉区と連携し、「健康レストラン事業」において、大麦を使用した健康的なメニューの試食提供等を行った。

(2) 生活支援〈重点項目①〉

計画	<ul style="list-style-type: none">・安定した就労を支えるために必要な、土台となる規則正しい生活を送るための助言や、課題解決に向けた取り組みについて、関係機関やご家庭と連携をして行う。
報告	<ul style="list-style-type: none">・計画通り実施した。・<u>働くために必要な課題解決に向けて、必要に応じて関係機関やご家庭と連携し、助言等を行った。</u>

(3) 相談支援〈重点項目①〉

計画	<ul style="list-style-type: none">・定期的にかつ必要に応じて随時、本人からの聞き取り等を行うことで生活状況等を把握し、就労面・生活面の不安や課題を軽減するように努める。・相談支援専門員等の関係機関と定期的に情報共有を図ることで、迅速な課題解決を図る。
報告	<ul style="list-style-type: none">・計画通り実施した・<u>定期的にかつ必要に応じて随時、本人から聞き取り等を行うと共に、定期的に関係機関と情報共有を図ることで、迅速な課題解決を図った。</u>

(4) 送迎支援

計画 ・新津駅～事業所間の送迎支援を行う

報告 ・利用者、1日平均5名に対して送迎を行った。また、短期入所など他事業所を利用する際も送迎を実施した。

(5) 支援サービスの質の向上

計画 ①各関係機関との連携を密にし、安定した就労ができるよう支援する。
②定期的な職員会議等の実施、また必要に応じて関係機関とのケア会議等を実施する。

報告 ・計画通り実施した。
・利用者、保護者との面談時には相談支援専門員等にも同席して頂き、支援について情報を共有するようにした。
・定期的に職員会議を実施し、必要に応じて関係機関との連携を図った。

(6) 地域社会・関係機関との連携〈重点項目③〉

計画 ①「コレッテ」の運営、商品作りを通して関係機関との連携や地域との関係づくりを図る。
②地域との交流及び活動の機会を作り出す。
③地域と連携協力によるネットワークを強化し、地域のイベントや販売活動等に積極的に参加し、地域に根付いた事業所づくりに努める。

報告 ・計画通り実施した。
・地域で開催されたイベントに積極的に参加することで、地域との関係づくりを図った。今後も継続してイベントに声をかけていただいているように、進めていきたい。

(7) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品目	数量	契約金額	契約業者
軽自動車	— 台	1,278,528 円	阿部自動車興業(株)
ラトルプリンター	— 台	351,000 円	中静産業(株)
インクジェットプリンター	— 台	246,024 円	天野商事(株)
小型製粉機	— 台	243,000 円	(株)新潟クボタ
手洗い場設置	— 式	85,000 円	(株)馬場工務所

利用状況 就労継続B型 定員 20

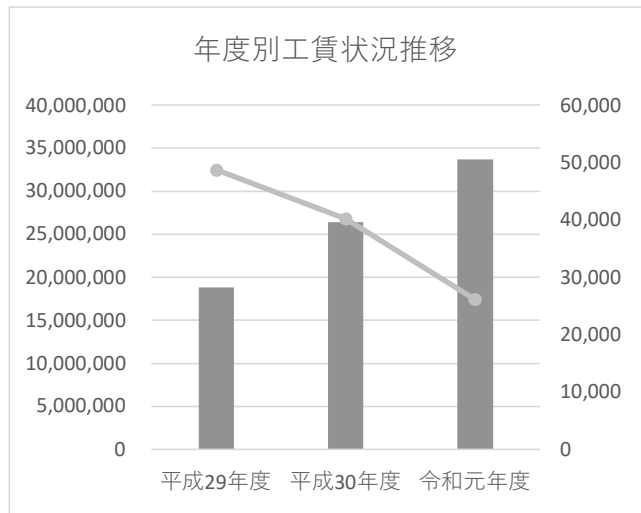
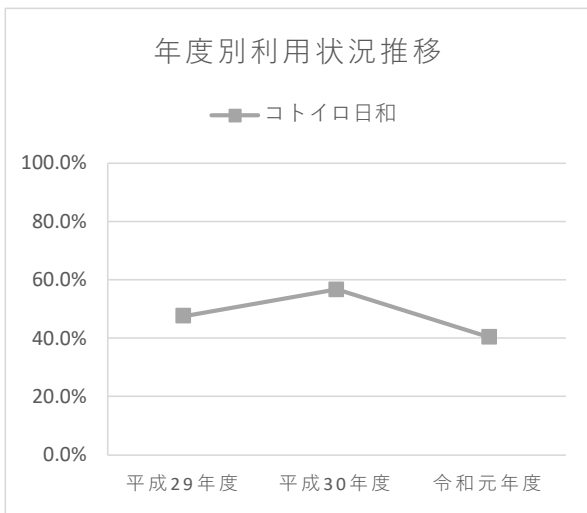
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	199	211	255	280	212	221	246	251	253	227	212	267	2,834
開所日数	29	30	30	31	28	29	31	30	28	26	29	31	352
平均利用者数	7	7	9	9	8	8	8	8	9	9	7	9	8
利用率	34.3%	35.2%	42.5%	45.2%	37.9%	38.1%	39.7%	41.8%	45.2%	43.7%	36.6%	43.1%	40.3%

年度別利用状況

事業名	平成29年度				平成30年度				事業名	令和元年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率		定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援A型	10	309	1,470	47.6%	10	304	1,725	56.7%	就労継続支援B型	20	352	2,834	40.3%	1109

年度別工賃支払状況

事業名	平成29年度				平成30年度				事業名	令和元年度				前年比 平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃		支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援A型	8	18,805,351	4,674,154	48,689	10	26,428,177	4,298,333	40,171	就労継続支援B型	14	33,669,963	3,833,850	26,081	△ 14,090



ぶどう工房

(1) 作業支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・自主事業（パン製造販売）は、利用者の個々の特性を理解し、それぞれに合った無理のない作業設定を行うことで、その技能を高める。また、地域に愛される商品づくりをし、地域貢献、社会参加につなげる。 〈重点項目①〉・受託事業（紙加工・米菓の詰め替え）は、年間を通して安定した作業量を確保し利用者に提供する。・施設外就労（企業・喫茶店営業）は、個別支援計画に基づき企業内で作業を実施する。職場により近い環境で仕事に対する姿勢やコミュニケーションの取り方などを学ぶことを目的とする。・法人内の事業所と連携して、六条大麦を活用した 6 次産業を展開していく。
報告	<ul style="list-style-type: none">・<u>作業収入は前年度比で96%であったが、パン販売において売れ残りを減らすことにより、前年度を上回る工賃を支給することができた。</u>・施設外就労においては、毎日 10 人が「紙加工企業」「喫茶店業務」に携わっている。コロナウィルスの影響により、3 月は「喫茶店業務」が停止になる。・イベント販売において六条大麦を利用した「もち麦パン」の販売を行う。

(2) 生活支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・QOL を高めるため各自治体の制度やサービスの利用を促し、安定して充実した生活が送れるよう支援する。〈重点項目①②〉・利用者同士の交流を深めるための自主活動と地域の活動やイベント等に参加し、地域交流が持てるよう支援する。
報告	<ul style="list-style-type: none">・利用者の平均年齢が 47 歳と年齢が高くなるにつれて、ご家族（両親・兄弟姉妹等）も高齢化してきている。生活全般にわたっての支援・相談の件数が増加している。・<u>地域で開催されるイベント等に参加し、利用者に社会参加の場を提供することができた。（台風により中止されるイベントがあった。）</u>

(3) 健康管理

計画	<ul style="list-style-type: none">・安定した豊かな地域生活を送れるよう定期的な通院、服薬指導など、家族や医療機関、福祉などの関係機関との連携を密にし支援する。〈重点項目②〉・主治医の指導のもと、定期的に通院し服薬の指導を受け病状の安定に努める。〈重点項目②〉・食品衛生法に基づき、年 1 回検便を実施する。
報告	<ul style="list-style-type: none">・計画通り実施した。・<u>体調の変化に早めに気づくことで、（早期発見）早期治療に繋ぐことができた。</u>

(4) 相談支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・年2回の定期面談を行い、利用の目的や今後について共に考える機会を作り個別支援計画を作成する。・個別相談を随時行い、利用者や家族からの日々の悩みや気持ちに寄り添いながら協力医や担当保健師など関係機関の連携を取り、相談に応じる。〈重点項目②〉
報告	<ul style="list-style-type: none">・<u>疾病の再発を防ぎ、安心・安全に生活を送れるよう支援した。</u>・年2回の定期面談では、利用者の課題や意向を確認し、必要な支援及び助言を行った。・必要に応じて、医療機関・関係機関との連携を図ることができた。

(5) 送迎支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・自分で通所困難な利用者に対して送迎支援を実施する。・定期的なスタッフミーティングを開催し、送迎支援に関わるスタッフとの連絡及び連携を常に図り、サービスの向上に努める。〈重点項目①〉
報告	<ul style="list-style-type: none">・<u>月2回、送迎支援会議を開催し、利用者の日々の状態を把握し、必要に応じて支援を行った。</u>・「安全運転管理者講習」を受講し、「安全運転管理の責任の明確化」と「交通事故防止体制の確立」を図ることができた。

(6) 支援サービスの質の向上

計画	<ol style="list-style-type: none">① 精神障害にともなう「生活のしづらさ」について、日ごろから医療機関、行政機関との連携を保ちながら、利用者の生活の安定のために支援する。〈重点項目②〉② 利用者に公平なサービスを提供できるよう、職員のミーティング（随時）・ケース会議（月2回）等を行い、利用者の体調や生活状況を把握し、情報を共有するよう努める。③ 職員の資質や専門性を高めるために、各種研修への参加を促進し、スキルアップをめざす。内部研修や勉強会を行い、知識の習得に努める。
報告	<ul style="list-style-type: none">・計画通り実施した。・職員は、各種研修に参加しスキルアップを図った。・<u>各種会議を開催し、話し合いの場を設け協議を行うことで、課題の解決に結びつけることができた。</u>

(7) 地域社会・関係機関との連携

計画	<ol style="list-style-type: none">① 地域の関係機関との関わりを持ち、地域に開かれた施設運営に努める〈重点項目③〉② 地域で開催されるイベント等に積極的に参加し、利用者に社会参加・地域交流の場を提供するとともに地域に施設の情報の発信をする。
報告	<ul style="list-style-type: none">・<u>関係機関及び地域社会との連携を図ることで、交流と情報交換を行うことができた。</u>

(8) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品 目	数 量	契約金額	契約業者
トイレ修繕	一 式	51,840 円	(株)カサイ

利用状況

就労継続B型

定員

20

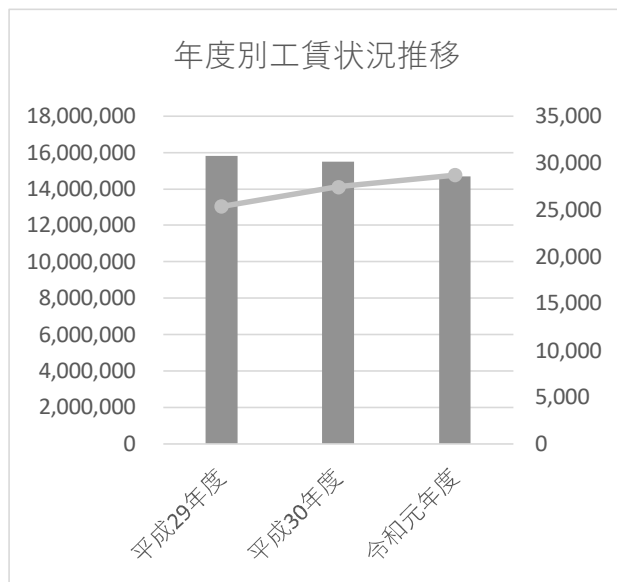
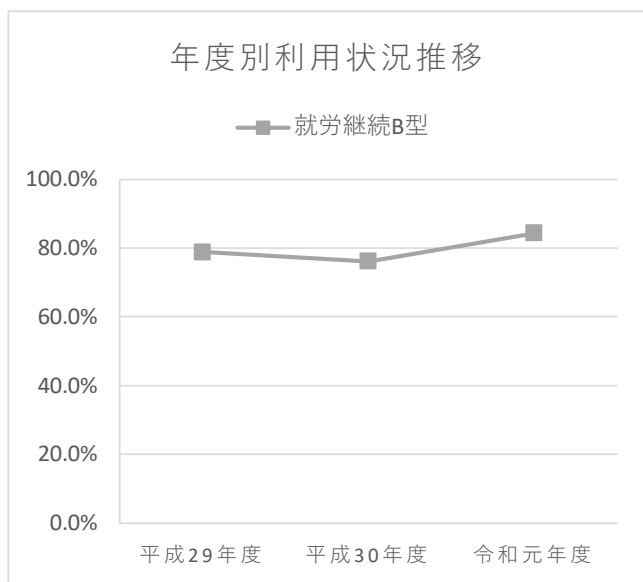
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	371	371	387	417	335	382	411	381	393	358	329	398	4,533
開所日数	23	22	26	26	21	23	24	23	23	19	18	21	269
平均利用者数	16	17	15	16	16	17	17	17	17	19	18	19	17
利用率	80.7%	84.3%	74.4%	80.2%	79.8%	83.0%	85.6%	82.8%	85.4%	94.2%	91.4%	94.8%	84.3%

年度別利用状況

事業名	平成29年度				平成30年度				令和元年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	20	286	4,503	78.7%	20	287	4,367	76.1%	20	269	4,533	84.3%	166

年度別工賃支払状況

事業名	平成29年度				平成30年度				令和元年度				前年比 平均工賃
	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	支払対象者数	売上高	工賃支払総額	月額平均工賃	
就労継続支援B型	24	15,806,868	7,456,629	25,363	24	15,491,283	7,544,319	27,434	24	14,682,205	8,183,514	28,714	1,280



ララスマイル

(1) 発達支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・発達課題、障害特性に応じた支援、個別/グループプログラムを実施する・ソーシャルスキルトレーニングの実施
報告	<ul style="list-style-type: none">・利用ニーズや個別の発達課題、特性に応じた個別支援計画を作成し、個別、グループでの活動機会を組み合わせた支援を実施した。・個々に課題とする具体的な社会生活技能の向上に向け、効果的に支援を行うため、小グループ単位でのソーシャルスキルトレーニングの機会を提供した。

(2) 余暇支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・興味のもてる、楽しめる活動を提供する (一人遊び、グループ遊び、創作活動、季節行事活動、外出活動)
報告	<ul style="list-style-type: none">・共通の興味や同年代の児童同士でのグループ活動の機会を提供し、仲間意識や助け合う大切を感じられるよう支援を行った。・季節に応じた集団での行事の機会や、地域のイベントの参加や地域資源を活用した外出活動を行った。・長期のゴールデンウィーク期間に臨時開所を行い、バーベキューを行い、普段できない余暇支援の提供を行った。

(3) 日常生活支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・基本的動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練を実施する (排せつ、食事、着脱、言語、集団生活)
報告	<ul style="list-style-type: none">・個別の特性、発達段階に応じて、課題となる生活動作、技能の取得に向け、個別対応での活動機会を提供した。

(4) 学習支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・学校、家庭と連携し、宿題の見守り、学習への取り組みを支援する
報告	<ul style="list-style-type: none">・計画どおり実施した。

(5) 送迎支援

計画	<ul style="list-style-type: none">・高校進学を見据え、電車通学に向けた支援を家庭や関係機関と連携し支援を実施する。また、自力通学が特性上困難な利用者に対しては、対象利用者の家族の希望および状況を確認し、次年度以降の江南特別支援学校への送迎支援実施に向けた取り組みを行う。〈重点項目①〉・秋葉区区内の学校までの迎えを実施する。
-----------	--

報告	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者には家庭と連携し、電車通勤における必要な支援を実施した。次年度より江南特別支援学校へ送迎支援を実施する旨をご利用者へ伝え、意向調査を実施した。 ・計画通り、送迎支援を実施した。
-----------	---

(6) 延長支援

計画	・休業日においては 8 時 00 分から 9 時 00 分、17 時 30 分から 19 時 00 分までの延長支援を実施する
報告	・計画どおり実施した。

(7) 相談支援・家族支援

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な個別面談を実施するとともに必要に応じて家庭訪問を実施する ・こどもの発達課題や障害特性への理解を深め、具体的な手立てと見通しをもった取り組みを通して、「障害受容」を支える ・関係機関と連携し、ライフステージに沿った支援を行う
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な個別面談の機会を設けるとともに、個別の状況によって、集中的な相談支援、家庭訪問を行った。 ・学校や家庭と共通の取り組みを実施できるよう支援会議に積極的に参加すると共に、学校訪問を実施した。

(8) 支援サービスの質の向上

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修、勉強会や各種研修会参加等を通して支援者の「気づく」「学ぶ」「伝える」「取り組む」「振り返る」力を育み、専門事業所としての支援力の向上を図る。 ・ソーシャルスキルトレーニング支援の質を高めるために、各種研修会に参加するとともに、事業所内で SST 勉強会を実施する。 →ソーシャルスキル尺度（アセスメント）の見直し。活動プログラムの検討。演習の実施。＜重点項目②＞ ・毎月、ケース会議と職員会議を実施する。
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の参加、事業所内勉強会を実施した。 ・勉強会を実施。演習等を行うことにより、支援スキルの向上を図った。 ・アセスメントの取り方の見直し及び、活動プログラム更新を図った。 ・計画通り、会議を実施した。

(9) 地域社会・関係機関との連携

- 計画**
- ・新潟市放課後等デイサービス事業所ネットワークの運営、所属。
→同事業者との研修会の実施、学校に対する説明会・研修会の実施。
＜重点項目③＞
 - ・秋葉区地域自立支援協議会の参加。
→学校、関係機関を対象とした「つながる支援セミナーの実施」。
→情報をつなぐ仕組み「つながる支援ファイル」の普及、啓発活動。
 - ・余暇支援において、地域資源を積極的に活用する。
 - ・ボランティア、学生の体験学習の受け入れを行う。

- 報告**
- ・研修会の参加。同事業者間の見学会、交流会を実施した。
 - ・つながる支援セミナーの参加、つながる支援ファイルの配布を開始した。
 - ・地域資源を活用した余暇支援、地域行事へ参加し交流を図った。
 - ・実習生の受け入れを行った。
 - ・サマーチャレンジボランティアの受け入れを行った。

(10) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品目	数量	契約金額	契約業者
車両購入 (ワポックス)	一台	1,248,800 円	北栄自動車工業 (株)

クラシック

(1) 支援内容

計画	<p>利用される方に応じて必要な支援を提供する</p> <p>①入浴、排せつ、食事の介護 ②健康管理 ③食事の提供 ④相談及び助言</p>
報告	<ul style="list-style-type: none"> ご家族、本人より利用ニーズや状況の聞き取りを行うとともに、所属先との情報共有を図り、必要な支援を提供できるよう努めた。 検温や血圧の計測、服薬管理、気温管理、衣類や寝具の調整等、健康管理に配慮し支援を行った。 偏食や刻み食の対応や朝食の主食を選択できるようにすることで、個々の状況や普段の生活スタイルに配慮した食事提供を行った。 利用者に寄り添った相談（会話）を意識し支援を行った。

(2) 支援サービスの質の向上<重点項目①②>

計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員の兼務および交代勤務体制での実施となることから、引継ぎや事故防止の徹底を図ることができるよう、支援記録、ヒヤリハット記録、引継ぎ書等の記載及び閲覧方法の見直しを図る。 自分の時間を豊かに過ごすことができるよう、余暇（趣味）や役割（手伝い）の具体的な提案、体験を支援する。また、余暇の時間を他者と関わりながら過ごすことができるよう環境の充実を図る。 各種会議、ケース検討の実施及び研修会への参加。
報告	<ul style="list-style-type: none"> 記録の整備、閲覧方法の見直しを図り、情報共有を徹底した。 個々の状況に応じて、身の回りのことや役割を前向きな気持ちで行えるよう支援を行った。 ご利用時の過ごし方について、環境と他者との距離感に配慮しながら、安心した気持ちで過ごすことができるよう支援を行った。 計画通り実施した。

(3) 地域社会・関係機関との連携

計画	<ul style="list-style-type: none"> 安心して暮らすことができる地域社会との関係づくり。 行政及び関係機関との連携・協働を図る。
報告	<ul style="list-style-type: none"> 行政や関係機関に対して、事業の実施状況、受け入れ体制、支援状況等についての情報を提供し、事業理解を図った。

(4) 主な修繕、及び固定資産取得状況

品 目	数 量	契約金額	契約業者
扉修繕	一 式	145,800 円	コスモ建設（株）
冷蔵庫	一 台	198,000 円	（株）天神屋

ラスマイル

利用状況 放課後等デイサービス 定員 20

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	511	495	509	544	496	474	535	494	506	477	470	458	5,969
開所日数	24	23	21	26	23	23	25	24	24	22	23	25	283
平均利用者数	21	22	24	21	22	21	21	21	21	22	20	18	21
利用率	106.5%	107.6%	121.2%	104.6%	107.8%	103.0%	107.0%	102.9%	105.4%	108.4%	102.2%	91.6%	105.5%

年度別利用状況

事業名	平成29年度				平成30年度				令和元年度				前年比 利用者数
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率	
就労継続支援B型	15	287	4,953	115.1%	20	290	5,468	94.3%	20	283	5,969	105.5%	501

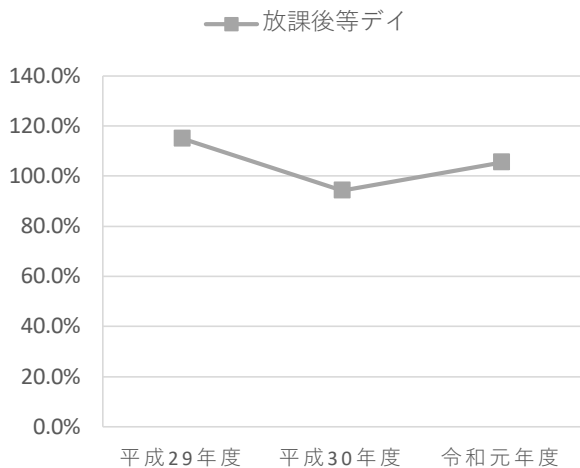
クラシック

利用状況 短期入所 定員 5

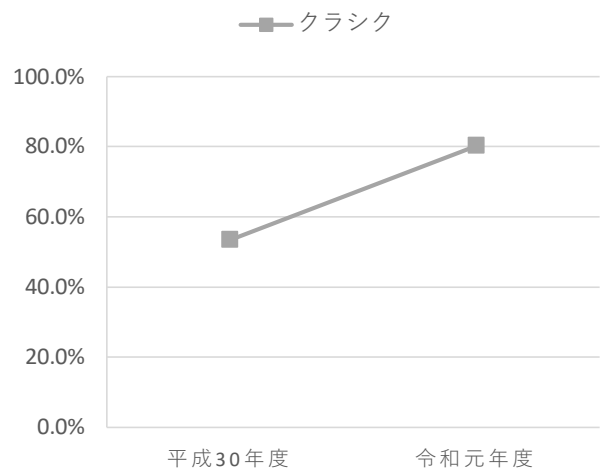
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ人数	37	36	41	37	37	40	39	41	38	44	41	35	466
開所日数	10	10	11	10	8	11	9	10	9	10	9	9	116
平均利用者数	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	5	4	4
利用率	74.0%	72.0%	74.5%	74.0%	92.5%	72.7%	86.7%	82.0%	84.4%	88.0%	91.1%	77.8%	80.3%

事業名	平成30年度				令和元年度			
	定員	開所日数	延利用者数	利用率	定員	開所日数	延利用者数	利用率
短期入所	5	99	265	53.5%	5	116	466	80.3%

ラスマイル年度別利用状況推移



クラシック年度別利用状況推移



相談支援センター アンパス

(1) 計画相談支援 <重点項目①②>

計画	対象者：障害福祉サービスを申請した障がい者又は障がい児 ①ニーズや課題の整理 ②ニーズや課題に基づいた障がい福祉サービス等に関する情報提供 ③必要な障がい福祉サービスについてのサービス計画案作成 ④支給決定後のサービス利用計画作成と障がい福祉サービス利用に関する調整 ⑤障がい福祉サービス利用後、一定期間毎のモニタリングと必要に応じての計画書の見直し
報告	<u>全ての項目について、概ね実施できている。モニタリング実施標準期間の見直しに伴い、より丁寧なモニタリングが求められ、対応している。</u> <u>利用者の心身の状況や置かれている環境の急変により、サービス変更や新たなサービスを必要とする方に対して、各事業所や医療機関等との連絡・調整、担当者会議の実施の比重が高くなっている。</u>

(2) 支援サービスの質の向上 <重点項目③>

計画	①秋葉区ケース会議（事例検討等）に参加する。（月1回） ②その他必要に応じた研修に参加する。 ③安全運転、法令順守、事故防止に努める。 ④個人情報取扱要項に基づき、個人情報保護に努める。
報告	<u>概ね達成できている。②の研修については相談支援に関する内容の他に、強度行動障害など、その他専門性を高めるための研修にも積極的に参加することができている。</u>

(3) 地域社会・関係機関との連携 <重点項目②>

計画	①安心して暮らすことができる地域社会の実現への貢献 ②市及び関係機関、地域社会との円滑な連携、支援ネットワークの構築を図る。
報告	<u>関係機関との連携は概ね円滑に行うことができている。他業種（医療機関、学校、保育園、弁護士等）との連携も増えており、支援のネットワークはより広がっているように感じる</u>

事業別実施状況

特定相談支援

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画	16	16	12	8	19	23	22	18	17	12	25	18	206
モニタリング	11	19	22	12	25	23	24	25	30	62	35	51	339
合計	27	35	34	20	44	46	46	43	47	74	60	69	545

事業別実施状況

障害児相談

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画	13	1	5	8	6	2	6	7	5	10	11	9	83
モニタリング	7	7	8	3	2	1	6	2	2	3	6	13	60
合計	20	8	13	11	8	3	12	9	7	13	17	22	143

年度別実施状況

事業名	平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	登録者数	計画	モニタリング	登録者数	計画	モニタリング	登録者数	計画	モニタリング
特定相談	223	180	193	225	178	157	207	206	339
障害児相談	57	78	66	60	84	57	70	83	60
合計	280	258	259	285	262	214	277	289	399

